

小学校用

(令和6・7・8・9年度用)

『 調 査 資 料 』

2023年(令和5年)6月

藤沢市教科用図書採択審議委員会

目 次

国 語	東京書籍・教育出版	1
	光村図書出版	2
書 写	東京書籍・教育出版	3
	光村図書出版	4
社 会	東京書籍・教育出版	5
	日本文教出版	6
地 図	東京書籍・帝国書院	7
算 数	東京書籍・大日本図書	8
	学校図書・教育出版	9
	啓林館・日本文教出版	10
理 科	東京書籍・大日本図書	11
	学校図書・教育出版	12
	信州教育出版社・啓林館	13
生 活	東京書籍・大日本図書	14
	学校図書・教育出版	15
	信州教育出版社・光村図書出版	16
	啓林館	17
音 楽	教育出版・教育芸術社	18
図 工	開隆堂・日本文教出版	19
家 庭	東京書籍・開隆堂	20
保 健	東京書籍・大日本図書	21
	大修館・文教社	22
	光文書院・学研教育みらい	23
英 語	東京書籍・開隆堂	24
	三省堂・教育出版	25
	光村図書出版・啓林館	26
道 徳	東京書籍・教育出版	27
	光村図書出版・日本文教出版	28
	光文書院・学研教育みらい	29

発行者の略称	東 書	教 出
書 名	新しい国語	ひろがる言葉 小学国語
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「見通す」「取り組む」「振り返る」の構成で編成され、児童が見通しをもって課題に取り組むための工夫がなされている。 ・「言葉相談室」では、具体的な日常場面が設定され、言葉に対する語彙を豊かにし、造詣を深めるような工夫がなされている。 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の各領域のテーマが互いに連動しているので、つながりをもって学ぶことができるようになっている。 ・5年の「伝えたい言の葉」では、言葉のひびきを楽しむ古典が紹介され、6年では古典芸能や歴史上の人物の言葉など伝統的な言語文化に親しむ工夫がされている。 ・「漢字を使おう」では、練習問題へと繋がっている二次元コードがあり、漢字の書き取りの定着ができるように工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の「見通しをもとう」では、めあてから振り返りまで一連の活動とそれを支える思考ツールが示され、主体的な学びを促している。 ・「漢字の広場」「言葉の広場」では、漢字や言葉の使い方、時代における違いをはじめ、豊かな語彙感覚を身につけるための工夫がなされている。 ・1年の『なかよしの みち』では、幼児期での体験や入学期のイラストが掲載され、スタートカリキュラムを意識したつくりになっている。 ・「言葉の文化」では、日本人の生活とかかわりの深い事柄についてまとめられ、言葉の広がりや文化を結び付けて考えることのできる工夫がなされている。 ・文字指導では、鉛筆で書いたような書体で、濃淡があり、運筆や筆圧の加減がわかりやすい工夫がなされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として、色合いのやわらかなイラストが使われており、色覚の多様性に配慮されている。 ・数字の他にドットがつけられているので、一目で何行目かが分かるように、読みやすい工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・領域ごとに色分けされており、どの領域の学習なのかが視覚的に掴みやすい工夫がされている。 ・文字のフォントの大きさを変えたり、文字の周りに色をつけたりして、児童が注目しやすい工夫がされている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル時代に対応し、インターネットや情報等の取り扱い、デジタルノートを活用するためのコンテンツなどが取り入れられている。 ・「未来を生きる君へ」では、将来の夢に向かって努力する本市の子どもたちへのメッセージとして、扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生の「みんなが楽しめる新スポーツ」では、様々な視点からルールを議論し、インクルーシブについて考えることができる。 ・書く単元では、書く際の視点の持ち方を生活科や他教科からも取り入れ、教科横断的に学習を進めることができる。

<p>発行者の略称</p>	<p>光 村</p>	
<p>書 名</p>	<p>国語</p>	
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの単元の「見通しをもと う」では、学習過程が示され、学 習の見通しをもち、問いや対話が 自然と生まれてくるようになって いる。 ・「言葉のたから箱」「季節の言 葉」の語彙が充実しており、豊富 な言葉の中から自分が表現した ことばを主体的に選べるように なっている。 ・1年生では、絵本の読み聞かせか らはじめるなど環境の変化に対 応できるようスタートカリキュラ ムを意識した工夫がなされている。 ・5年の「古典の世界」「古典に親 しもう」では、言葉のひびきやリ ズムを味わい、当時の様子を想 像しながら読むことができるよ うに配慮されている。 ・「漢字の広場」では、日常の生 活場面などの様々なテーマが設 定され、児童が自分のこととし て取り組みやすいつくりになっ ている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや行の間隔などが 学年によって配慮されており、 読みやすい工夫がなされている。 ・「たいせつ」のマークなどイラ ストで視覚化し、学習のポイン トを簡潔にまとめられているの で、児童が学びやすい工夫が なされている。 	
<p>本市の児童の実態や 地域等の特性との関 連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方に関する教材や「 書く」学習の機会が繰り返し設 けられており、論理的に書くこ とが苦手な児童にとって取り 組みやすいように工夫されて いる。 ・国籍や性別、障がい、髪や肌 の色等、人権に配慮されたイ ラストが掲載され、SDGsや一 人ひとりを大切にする本市の 理念に合致した内容となっ ている。 	

発行者の略称	東 書	教 出
書 名	新しい 書写	小学 書写
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関 連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学び方を「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」などのキーワードで示し、見通しをもって学べるようになっている。また、3年生以降は毛筆と硬筆の反復構成となっている。 ・筆の動きが青い線や点線で示されており、次の点画へ空中でなめらかにつながる動きを誘導している。また、「書写のかぎ」でポイントが分かりやすくまとめられている。 ・学習事項の「配列」では、縦書きと横書きの練習を見開きページに載せており、国語以外の学習とも関連があることを意識しやすいつくりになっている。 ・各めあてに「見つけよう」や、表紙裏の見開きに「おかしな〇〇」というコーナーが設けられており、児童同士が対話しながら、気づきを得られる工夫がされている。 ・「生活に広げよう」「学びを生かそう」のコーナーで、メモの取り方やポスターづくりなど他教科とも関連させるつくりとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の始めと終わりに硬筆練習を設定していて、毛筆での練習が生かせるようになっている。 ・初めに、筆の動かし方や、力の入れ方の違いについて学習する場面がある。詳しい説明もあり、児童が理解するペースに合わせて、見返すことができるよう工夫されている。 ・硬筆は、日常の学習と関連付けられている。マス目の使い方や手紙の書き方など、他教科の学習や生活でも役立つ内容が示されている。 ・たまごのマークの「考えよう」では、児童が主体的に課題を発見したり、対話的活動を促したりする問いが示されている。また、その対話の様子が写真や図で掲載され、児童の興味・関心を引き出す工夫となっている。 ・「レッツ・トライ」「書いてつたえ合おう」でノート作品や発表資料を取り上げ、他教科へのつながりが意識できるよう示されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に合わせ文字の大きさを変えて示されている。 ・準備から片付けまでの流れを含めた写真があり、見通しをもちやすい。 ・「書写のかぎ」には、児童が自分の取組をいつでも振り返ることができる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も一目で見やすい大きさで文字が書かれている。 ・見開き1ページの中に毛筆の手本とともに、めあてに添った確認事項が示されている。 ・毛筆学習の初期に、穂先の向きを、生活に密着した時計の針で表現する工夫がされている。
<p>本市の児童の実態や 地域等の特性との関 連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6年の「学びを生かそう」では、小学校の書写の学びを総括し、中学校でも広げられるよう、「六年生のまとめ」や「書写展覧会を開こう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年の見返し部分に「世界の『書く』」が掲載されており、本市がめざす多文化共生の理念と一致している。

発行者の略称	光 村	
書 名	書写	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の学習の後、学習したことを生かした硬筆練習がある。 ・動物キャラクターの体の動きや擬音で、筆使いや運筆のリズムが示されており、イメージしやすい工夫がされている。 ・硬筆の学習では、国語ノートや連絡帳など、普段使っているものを題材に取り上げ、生活に役立てやすいようになっている。 ・「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」の流れで構成されており、「考えよう」で、整った文字を書くためにはどうしたらいいのか児童自身に問うことで主体的な学びに繋がるようにしている。また、この問いについて指導者や友だちとの対話を促している。 ・「書写広げたい」「やってみよう」では、学んだ内容を他教科で実践する例が示され、教科横断的な学習につながっている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の文と、手本の文のフォントを変え、より分かりやすくなっている。 ・大切なポイントがシンプルに示されており、余白もあり、文字が見やすくなっている。 ・イラストがふんだんに使われておりイメージしやすく、興味をもって取り組める工夫がされている。 	
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・横書きの書き方を示している。生活科や理科のノートに活用できるように見出しを付けて位置をそろえさせたり、課題を枠で囲んだり見やすいノートの作り方を記載している。 	

発行者の略称	東 書	教 出
書 名	新しい社会	小学社会
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関 連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を進めていくために、問題を「つかむ・調べる・まとめる・いかす」という構成にしており、本時の学習問題や活動内容を明記している。 ・「まとめる」のページでは、学んだことを図や表を使い整理したり、様々な視点から考え話し合ったりできるよう、促すつくりになっている。 ・北方領土及び竹島に関しては「不法に占領」、尖閣諸島については「領土問題は存在しない」と明記している。 ・SDGsについて映像や資料などをもとに学ぶことができる特設サイトを設けている。 ・詳しい資料や学習場面に応じた動画などにアクセスできる二次元コードを多数掲載している。また、タブレット端末の使い方や情報モラルが学べるデジタルコンテンツが用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を進めていくために、「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」という構成にし、「この時間の問い」など、本時の学習問題を明記している。 ・「つなげる」のページでは、自分でまとめた資料を使い、様々な視点で話し合うよう、促すつくりになっている。 ・北方領土は「不法に占領」、竹島は「不法な占拠」、尖閣諸島については「領土問題はなし」と明記している。 ・「SDGsとつなげて考えよう」というページを設定し、学習内容とSDGsを関連づけて考えられるようにしている。 ・学習場面に応じて様々なコンテンツから選んで活用できる二次元コードを多数掲載すると共に、巻頭には、ICT機器の多様な活用例を紹介するページを設け、活用を促している。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の見方・考え方を4つ提示し、児童に親しみのあるキャラクター(ドラえもん)の4種類のマークで、本時の学習に沿った見方・考え方を示している。 ・単元の導入で、1ページの中に複数の写真や絵を載せて、様々な資料に触れられるよう工夫している。 ・本文に加え、学習内容に関連する情報を記載し、児童の多様な学びに応えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会科で使う見方・考え方」を6つ提示し、キャラクターの吹き出しの中に本時の学習に沿った見方・考え方を太字で示している。 ・1ページや見開きで大きな写真や絵を載せ、その資料から様々な情報を得たり、疑問を持ったりできるようなつくりになっている。 ・コラム、キーワードなどを、本文と色分けして記載し、児童が学びやすいようにしている。
本市の児童の実態や地 域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・6年では、鎌倉幕府に関する地図資料に藤沢の地名が出てくる。 ・6年では、各地に残る鎌倉時代のエピソードを取り上げている。 ・6年では、江戸時代の入り鉄砲と出女の資料として、箱根の関所について取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年では、藤沢の羽鳥村の小笠原東陽について取り扱い、地域発展に尽くした内容が扱われている。 ・4年では、箱根の寄木細工や神奈川県全域の水道水の流れが扱われている。 ・5年では、八ヶ岳野外体験教室と関連のある野辺山原の暮らしや牧場の様子を取り上げている。

発行者の略称	日 文	
書 名	小学社会	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を進めるために、問題を「発見する、追究・解決する、ほりさげる」の構成にし、本時の学習問題を明記している。 ・問題をほりさげるページでは、学習のまとめ方を示し、イラストで対話例も提示しながら、学んだことを様々な面から深め合うよう、促すつくりになっている。 ・北方領土及び竹島に関しては「不法に占拠」、尖閣諸島については「領有については、問題がない」と明記している。 ・各単元末に「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」というコーナーを設け、学習内容と関連づけて調べる学習を促している。また、巻末に「SDGsの目標シール」を付録としてつけている。 ・学習場面に応じたワークシート、写真や動画などにアクセスできる二次元コードを多数掲載し、資料の詳細な読み取りや比較に使えるようになっている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の見方・考え方として空間・時間・関係の3つを提示し、キャラクターのマークで本時の学習に沿った見方・考え方を示している。 ・写真や地図に加えて複数の統計資料も載せ、資料を関連づけて読み深められるよう工夫している。 ・本文を学習活動、学習内容、友達の発言に分けて表記し、児童が学びやすいようにしている。 	
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・4年では、二宮金次郎（小田原市）の農地改修を取り上げている。 ・5年では、未来につなげる取り組みとして、横浜市のフードバンクについて紹介している。 ・6年では、歴史的遺産と共生するまちづくりとして鎌倉市を取り上げている。 	

発行者の略称	東 書	帝 国
書 名	新しい地図帳	楽しく学ぶ 小学校の地図帳
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・どのページにも「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」を設け、それぞれのレベルを星で表し、難易度が上がるほど発展的な内容とすることで、主体的な取組みを促す仕掛けとなっている。 ・領土・領海・領空・排他的経済水域を海底も含めて示した模式図で表している。 ・日本の自然災害のページでは、ハザードマップとそれに関連した問いを掲載し、自分たちの住む地域のマップを見た際の考える視点が示されている。 ・歴史学習では、遣唐使船や大航海時代の航路に加え世界情勢についても詳細を知ることができる。 ・SDGsに関連する項目について、索引の中にコーナーを設けている。また、二次元コードのアクセス先のサイト内にSDGsについて、詳しい情報のリンクを紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのページに「地図マスターへの道」があり、そこに示された課題に取り組むことで主体的に地図活用のスキルを身につけることができる仕掛けとなっている。 ・領土・領海・領空・排他的経済水域を上空から俯瞰して示した模式図で表している。 ・日本の自然災害のページでは、防災の観点から、防災マップの作成方法が描かれていて、自分事として捉えやすくマップを作る際の参考になるよう工夫されている。 ・歴史学習では、明治時代初期の地図が掲載されていることで、過去と比較できる。 ・SDGsに関連する項目とそれに関連した解説を随所に設けている。また、二次元コードのアクセス先のサイト内にSDGsについて、詳しい情報のリンクを紹介している。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・資料については、学習する項目ごとに必要な情報が見開きにまとめられている。グラフやイラストが大きく読み取りやすいつくりになっている。 ・土地の高さや河川などの地形的な特色と市街地・田畑など土地利用の様子を関連付けているほか、地方別の地図では道路の情報が詳しく表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料については、見開きの情報量が精選されており、児童が情報を読み取りやすいつくりになっている。 ・土地の高さや河川などの地形的な特色と、市街地・田畑などの土地利用の様子を関連付けているほか、色分けも鮮明で必要な情報を捉えやすい工夫がなされている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京都とそのまわり」を示す地図では、鎌倉の大仏や野球場、サッカースタジアム等、児童の興味を引くイラストなどが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然の様子（高地のくらし）に5年生の八ヶ岳野外体験教室の学習と関連のある野辺山原についての情報が記載されている。

発行者の略称	東 書	大日本
書 名	あたらしい算数	たのしい算数
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見方・考え方を働かせ、課題を解決する力を育成するために、「〇〇のときと同じように考えると」が設けられている。 ・「どちらがながい」では、文房具や教室にあるものなど、身の周りにあるものの長さ比べが例示されており、自分の持ち物でもやってみたい、調べてみたい、見つけたことを具体物を使って友達に伝えたいと思わせる工夫がある。 ・4年以上に、「それなら次は？」という既習を活かして自分たちで学習を進めていくコーナーがあり、「主体的・対話的な深い学び」が実現できる工夫がされている。 ・3年以上にある「今日の深い学び」では、既習事項を使って解決できる発展的な問題提示に工夫が見られる。 ・2年、3年ではパソコンを使わずに筆算の解き方を使って、4年以降ではパソコンを使って、児童の発達段階に合わせてプログラミング的思考を育む内容が扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえろう」という活動には、他の子どもの見方・考え方に視点を置いた例示があり、他者の見方・考え方を価値づける工夫がある。 ・どの学年も、「学び合おう」の帯で示された部分には、どのように表現し、伝え合い、学びを深めていくのか、手順や方法が細かく書かれている。 ・「じっくり深く学び合おう」では、自分の考えを筋道を立てて説明することや友だちの考えを聞くときのポイントが示されており、深い学びが実現するように工夫されている。 ・「新しい学習がはじまるよ」には、問いとともに絵をページ全体で取り上げることで、興味・関心を引き出している。 ・1年から6年まで、「プログラミングに挑戦」のページがあり、パソコンを使わずにプログラミング的思考を育む内容と、さらに2年生からはパソコンを用いてプログラミングの基礎も学べるようになっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年は分冊で1巻がA4サイズのワークブック、2～5年分冊、6年合冊。教科書サイズはB判。 ・児童が文章の内容を理解しやすいように、すべての文章が文節改行になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年分冊で1巻がA4サイズのワークブック、2～6年合冊。教科書サイズはB判。 ・児童が文章の内容を理解しやすいように、読みやすい位置での改行になっている。
<p>本市の児童の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートづくりを重視し、数学的な見方・考え方の振り返りや自覚ができるようにノートの活用法が紹介されている。 ・問題解決の練り上げの過程では、自分の考えと他者の考えの比較・検討に主眼が置かれており、自分の考えと似ている考えを見出し、図や式などを用いて説明する活動を促すような内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上の「ふりかえろう」の活動では、他の子どもの見方・考え方に視点を置いた例示があり、見方・考え方を価値づける工夫がある。 ・巻頭にノートのかき方の例、話し方、聞き方が提示されており、児童が関わりながら学ぶよう工夫されている。

発行者の略称	学 図	教 出
書 名	みんなと学ぶ 小学校 算数	小学算数
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的な見方・考え方」とはどのようなものなのかを「考え方モンスター」として明確に示している。単元末の「ふりかえろう！」では、その単元でどんな見方・考え方を使ったのかを振り返る工夫がある。 ・「図や表を使って問題を考えよう」では、図などを使って表し、問題場面が捉えやすくすることで、児童が考えを深められるよう工夫している。 ・「はてなを発見」では、児童の日常生活に基づく疑問から問いが生まれており、「知りたいな」と主体的に学びに向かえるような工夫がされている。 ・「算数をつかって」「深めよう」など、身のまわりの生活の中にある算数に目を向け、数学的創造性を培うよう工夫されている。 ・「プログラミングのプ」というコーナーが設けられており、1年から6年までパソコンを使わずにプログラミング的思考をはたらかせる問題が扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年以降にある「つながるミカタ」では、既習に目を向けたり、分類したり、そろえたりなど知識・技能を身につけるためのポイントが示されている。また、「ふりかえろう」は、4コママンガで分かりやすい内容で記されている。 ・「算数を使って考えよう」では、日常生活の中の疑問を算数の見方・考え方をを用いて、解決できるよう促している。 ・「はてな？→なるほど！→だったら！？」という児童の問の連続を意識した構成になっている。また、学びをより深めるための「??」が設定されている。 ・単元の導入で、児童の興味を引く場面設定となっており、目的意識をもって取り組める工夫がされている。 ・1年、2年、4年、5年には「プログラミングにちょうせん」というコーナーがあり、パソコンを使ったプログラミングの基礎を学べるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・1～5年分冊、6年合冊、中学校へのかけ橋（別冊）。教科書サイズはAB版。 ・児童が文章の内容を理解しやすいように、文節で改行されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1～4年分冊、5、6年合冊となっている。教科書サイズはB判。 ・児童が文章の内容を理解しやすいように、読みやすい改行になっている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「ノート名人になろう」のコーナーでは、友だちの考えを聞いて良いと思ったところを書く活動があり、他者との関わりで学習が深まるよう工夫されている。 ・「算数をつかって」では、学びの中や生活の中から見つけた問題を解決しながら、身につけた算数の知識が生活の中に広がっていくことが実感できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広がる算数」、「社会のとびら」、「歴史のとびら」等のページでは、算数で学んだことを生活や他の学習をつないで考えられるよう工夫されている。 ・「友だちのノートを見てみよう」のコーナーでは、友だちの考えを書いたり比べたりする活動があり、他者との関わりで学習が深まるよう工夫されている。

発行者の略称	啓林館	日 文
書 名	わくわく 算数	小学算数
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「算数で使いたい考えの進め方」において、既習内容を振り返り「図を使って考える」「きまりを見つける」などの見方・考え方を例示している。 ・1年「3つのかずのけいさん」では、お話の「言葉」「絵」「ブロック図」「数字、式」が見開きで大きく横に並べて書かれていて、問題文から式を作る考え方がわかりやすくなっている。 ・児童の問いや気づきとするものが「めばえ」として掲載されていて、そこから「めあて」、「まとめ」へとつながるような授業展開がしやすい構成になっている。 ・5年「どんな計算になるのかな」では、金閣寺の金箔の量を考えたり、円周と直径の学習では「円周測定マシン」を作ったり、興味・関心をもって課題に取り組める工夫がされている。 ・全学年「わくわくプログラミング」のコーナーがあり、パソコンを使ってプログラミングを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「算数で使いたい見方・考え方」として、「簡単な場合で考える」、「きまりを見つける」などの見方・考え方が示されている。また、単元ごとにさらに具体的な見方・考え方が示されている。 ・ブロック操作と言葉での説明の仕方が示され、更に、「けいさんのしかた」がさくらんぼ計算の式で分かりやすくまとまっている。絵や図をかいいて考える事例も多く載っており、思考力や表現力が高まる工夫がされている。 ・「じぶんでみんな」では、いくつかの考え方が出る課題が提示され、具体物や図を使った説明の仕方が分かりやすく示されている。 ・3年「かけ算のきまりを見つけよう」では、遊びの中で学べるような仕組みをつくることで、児童の興味・関心を引き出す工夫をしている。 ・1年から6年まで、「レッツプログラミング」において、パソコンを使わずにプログラミング的思考を育む内容となっている。また、5年・6年はパソコンを使ったプログラミングの基礎を学べる内容となっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・1年分冊で1巻がA4サイズのワークブック、2～4年分冊、5、6年合冊。教科書サイズはB判。 ・児童が文章の内容を理解しやすいように、文章の改行は全て文節になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年分冊で1巻がワークブック、2～4年分冊、5、6年合冊。教科書サイズはB判。 ・1・2年では児童が文章の内容を理解しやすいように、分かち書き、文節改行になっている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「ふりかえろう」で単元全体をふりかえったときに、「数学的な見方・考え方」を児童自らが価値づけることができるようになっている。 ・3年生以上では、「わくわくSDGs」や社会科で学習した内容に関連づけるページがあり、データ活用や読み取りの学習ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「使ってみよう」では、学習したことを身の回りで活用する活動を取り上げ、算数と生活との関連が実感できるようにになっている。 ・「算数ノートをつくろう」のコーナーでは、自分の考えや友だちのよい考えを書く活動があり、学び合いの意識をもつよう工夫されている。

発行者の略称	東 書	大日本
書 名	新しい理科	たのしい理科
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の視点が文字や図、写真で分かりやすく体系的に示されている。また、安全面への配慮が必要なところに「きけん」と朱書きの記述がなされている。 ・観察、実験において児童自ら問題解決ができるよう、手順を明示している。各場面で主に働かせる「理科の見方や考え方」を青枠で囲み、具体的に明示している。 ・理科及び他教科での既習事項、暮らしとの関連が各単元の最初に掲載されている。 ・各単元の「問題」で児童に分かりやすい問いが示されている。吹き出しにおいて考えるヒントが複数明示されており、児童の主体的、対話的な学びを促すものである。「考えよう」では、学びを深める問いが示され、深い学びや児童同士の対話の実現を目指した工夫がなされている。 ・各単元の随所に二次元コードがあり観察・実験や学習内容の関連動画が視聴できる工夫がされている。また、巻末に「理科とプログラミング」があり、各学年の児童の発達段階に応じたプログラミングの実践例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の方法や順序が、写真や図も交えて分かりやすく端的に示されている。注意点は朱書きで「注意」と明記され、安全への意識を高める工夫がなされている。 ・理科の見方につながる着眼点が「ココに注目」の欄に表記されており、主体的に問題を見つけ、理科の見方を働かせて問題解決をしていけるよう工夫がなされている。 ・巻末に算数科や他教科との関連が掲載されており、他教科と関連がある箇所には「○○科のつながり」と明記され、教科書との関連ページが掲載されている。 ・各学年において、「見つける」「調べる」「伝える」とした問題解決の過程を統一して示し、力を身につけることができるよう工夫している。 ・各ページの下段に二次元コードがあり、道具の使い方や実験動画などが児童の必要なタイミングでいつでも視聴できるようになっている。また、巻末にタブレットの使用法やプログラミング教育に配慮した資料が掲載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版。問題解決に関わる文字が大きく、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。 ・巻末にノートのとめ方や実験器具の使い方などが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版で挿絵や図が大きく明瞭で見やすい。全体的に淡い色使いを基調とするなどユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。 ・巻末に観察、実験器具の使い方や資料が掲載されている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の最初で問題をつかみ、観察・実験のあとに考察、まとめの流れとなり、児童の思考がまとまりやすいように工夫されている。 ・茅ヶ崎市の雲の様子（5年生）、小田原市の地層、三浦市の地震による隆起（6年生）などの神奈川県の写真が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場する児童が対話しながら問題解決している様子が多く掲載され、児童が主体的に学習に取り組む工夫がなされている。 ・本市の湘南台文化センターこども館（3年生）、新江ノ島水族館（5年生）、江の島（6年生）の写真が掲載されている。

発行者の略称	学 図	教 出
書 名	みんなと学ぶ小学校理科	未来をひらく小学理科
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関 連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の方法について、注目するポイントが写真や図を使って説明されていて、見通しをもった活動ができるようになっていいる。また注意を喚起するマークを朱書き太字で表記しており、安全への配慮が見られる。 ・問題解決の過程を8つのステップに表し、それぞれの段階でつきたい見方・考え方を「理科モンスター」として示し、児童が楽しみながら力をつけたいくなる構成になっている。 ・仕事やくらしのつながり、「科学者を知ろう」など児童が授業以外にも探究する意欲をもつことができるよう資料を掲載している。 ・実験の結果や学んだことについて、具体的な場面や生活につなげた内容に置き換えるなど、伝わりやすいように工夫し、説明する活動を随所に設けている。 ・児童が必要な際に随時動画や資料などを閲覧したり、無料でプログラミングを組んだりできるように、二次元コードでコンテンツを豊富に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の基礎的な技能について、巻末に器具の使い方の資料があり、基本操作を身につけられる構成になっている。また、「危険」「注意」と朱書きの記載で安全への配慮を促している。 ・各学年、理科の見方・考え方を働かせる場面では「考え方のカギ」「見方のカギ」のアイコンがついており、着目点をキャラクターの台詞で表し、マーカーで強調する工夫がされている。 ・巻頭では、比べる言葉、関係づける言葉、見通しをもつ言葉、振り返る言葉の具体を示し、国語科と関連させて話すポイントが整理されており、対話の参考になるよう工夫されている。 ・各単元の導入では、主体的に問題を見つけられるよう、生活場面の資料などを用いている。キャラクターの対話場面を多く掲載し、学びを深められるよう工夫されている。 ・観察・実験に関する動画やウェブ図鑑を二次元コードから閲覧できるようにしたり、プログラミングなどでICT機器を扱う場面がわかるマークを掲載したりしている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版。配色は誰にでも見やすくなるようにユニバーサルデザインの視点を取り入れるなど、色使いやレイアウトに配慮している。 ・巻末に器具の使い方や調べ方、話し合い方などの資料がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版。紙面、デザインやイラスト、図板についても色覚等に配慮し、ユニバーサルデザインを用いている。 ・巻末に天体ミニ図鑑、生き物ミニ図鑑などがついている。
本市の児童の実態や 地域等の特性との関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元でつきたい力を示し、学習後の振り返りで自己評価を行いながら学習できるように工夫されている。 ・「大地のつくりと変化」（6年生）では、神奈川県のような地層や地形が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末には、学習前と学習後で振り返る場面をつくり、自分の考えの変化に気付くよう工夫されている。 ・藤沢市の空の様子の変化（5年生）小田原市の地層（6年生）などが掲載されている。

発行者の略称	信 教	啓林館
書 名	楽しい理科	わくわく理科
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関 連 内容・構成 教科・種目別の観点	編修趣意書のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・実験方法と初めて使う実験器具の使い方を同じ頁に掲載するなど、児童が頁を行き来することなく確認できるよう工夫がある。安全上気を付けることが朱書きで示され、「保護眼鏡」「かん気」などの共通のマークも併用されている。 ・理科の見方・考え方にマーカーが引かれ、児童の思考をサポートできるようになっている。また巻末では、日常生活でそれらの力が役立つ場面を漫画で分かりやすく示している。 ・「くらしとリンク」「理科の広場」等の頁では、実生活や他教科とのつながりを紹介したり STEAM の発想をもって課題を捉える工夫がされたりしている。 ・学習の過程をラインで見える化し、児童自身が見通しをもって主体的に学ぶ工夫がされている。 ・ICT機器の使用例が「活用の目的」と共に随所に示されている。また、二次元コードも掲載され、「協働的な学び」「プログラミング教育」のためのシュミレーション等や資料系・学習系のデジタル教材も豊富に活用できるようになっている。
分量・装丁・表記等		<ul style="list-style-type: none"> ・AB版。ユニバーサルデザインを採用するとともに、3・4年と5・6年で色調を変えている。 ・巻末には「資料室」があり、ノートのまとめ方や話し合いの仕方など紹介されている。
本市の児童の実態や 地域等の特性との関 連		<ul style="list-style-type: none"> ・単元の始めと最後で同じ問いについて考えることで自己評価や相互評価ができるようになっている。 ・光電池を利用して発電する町（6年生）として藤沢市の「Fujisawa サステイナブル・スマートタウン」が掲載されている。

発行者の略称	東 書	大日本
書 名	あたらしいせいかつ	たのしいせいかつ
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関 連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いっしょにまなぶなかまたち」として、6人の児童や2つのキャラクターに、各ページで吹き出しが付いていて、児童の気づきを促すものとなっている。また、上下巻とも季節ごとに変わる同じ場所のイラストを掲載しており、児童の興味・関心を引きつける工夫がされている。 ・児童が学習過程に沿って生活科の「見方・考え方」を生かしている姿をイラストを交えながら具体的に例示している。 ・巻頭に「がっこうせいかつ すたあと」が設けられ、幼児教育から学校教育への架け橋となるスタートカリキュラムの内容を丁寧に扱っている。 ・単元の導入ページの小写真とつぶやきから、児童が自分の実際の経験と単元で行われる学びが結びつけられるようにしている。また、単元ごとに「かつどうべんりてちょう」が示され、活動に応じて参照することで豊かな学びへとつなげる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きいっぱいの絵や大きな写真などが使われ、児童の興味・関心を引き、気づきを促すつくりとなっている。 ・上巻「やってみようせいかつか」では、「ためす、みつける、たとえば、くらべる、みとおす、くふうする」などの学習の流れの例を示し、下巻では、生活科の学習とSDGsとのつながりについてわかりやすく示している。 ・巻頭「できるよ やってみるよ」のページで、小学校での挑戦をすごろく風にあらわしていたり、幼児教育との共通点や違いをイラストと写真でわかりやすく表していたりする。 ・発表会に向けての準備を見開きでわかりやすく例示し、実際に発表する際の手がかりとなるよう工夫している。自分の気持ちや考えを書く欄が多く設けられているほか、その手がかりとなる言葉を「〇〇ことば」として示している。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻巻末には「ほんとうのおおきさいきものずかん」のページがあり、野外活動で発見した生き物をすぐに調べることができる。 ・「小単元名」や「てをあらおう」、「やくそく」などが同じ位置に配置されていて、見やすいレイアウトになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時に教科書に書き込み、切り取って使えるようなページがあり、友だちとの対話や交流、気づきを促す工夫がある。 ・単元ごとの見出しには大きな写真を掲載し、児童が何をするのか、何を学ぶのが視覚的に捉えやすい構成になっている。
<p>本市の児童の実態や 地域等の特性との関 連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚の七夕まつりの写真が掲載されている。 ・二次元コードを読み取り、「きせつのくらし図かん」を開くと、湘南キャンドルとして藤沢市が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚の七夕まつりの写真が掲載されている。 ・横浜市の学校で、あまった油からせっけんを作る活動が紹介されている。

発行者の略称	学 図	教 出
書 名	しょうがっこう せいかつ	せいかつ
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ものしりのうと」や「ものしりずかん」などが随所に設けられ、知識や児童の気づきを促すイラストや遊び、作品などが豊富に示されている。また、「もっと〇〇」の頁は児童の興味・関心が広がる一助となっている。 ・児童が見通しをもった活動の中で、言語活動が育まれるよう「かんさつかあど」や「野さい日記」「はっ見カード」などの書き方や時系列に見比べられる工夫がなされている。 ・巻末に「まなびかたずかん」として、「みる、きく、はなす、きく、かんがえる、はっぴょうする」などの学ぶ力をつけるための技能がまとめられている。 ・4人のキャラクターや、様々な大人、登場人物同士で関わる場面のイラストが各所にあり、吹き出しがあることで、児童が感情移入しやすい。また、多様な考えや思いを知るための工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に関するページの絵が同じ場所の風景で、見比べやすくなっている。また、多くのページに「? (はてな)」マークで問いかけがあり、気づきの視点のヒントになっている。 ・見開きページの左上に子どもたちに備わっている「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちょうせんする」「じしんをもつ」の6つの力を引き出せるよう学びのステップが示され、生活科において大切な「資質・能力」について一目でわかるよう工夫している。 ・巻末の「学びのポケット」に、他教科との関連の目安となる教科のアイコンがつけられており、教科横断的な視点が分かりやすく例示されている。 ・「わくわくスイッチ」「かんがえまとめいろ」「ぐんぐんはしご」などを各単元に設け、学びを見える化し、自分事として捉えられるようになっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植物や虫の「ものしりずかん」のページなどは、写真ではなく絵で描くことにより特徴が見やすくなっている。 ・装飾や指示を少なめにして、子どもの集中が他にそれていかないようにシンプルで見やすい紙面にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はっけんロード」「かんがえまとめいろ」「ぐんぐんはしご」など、学習場面ごとに児童に親しみやすい名称をつけ、学びやすいように工夫している。 ・「かぞくにこにこ大きくせん」の写真やイラストでは、母と子、父と子、祖父と孫、外国籍の親子、など様々な家族が想定されており、より多様性を感じさせるつくりになっている。
<p>本市の児童の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちのきせつ (冬)」で、横浜市の中華街の春節が取り上げられている。 ・「わたしたちの野さいばたけ」では、野菜農家がある本市の児童にとって親しみやすい、いろいろな野菜の育て方が載っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県川崎市のまちたんけんの様子が掲載されている。 ・「きせつとなかよし ふゆ」では、雪があまり降らない本市の児童にとっても参考となる遊びが掲載されている。

調査資料

教科：生活

種目：生活

NO. 3

発行者の略称	信 教	光 村
書 名	せいかつ	せいかつ たんけんたい
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関 連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<p>編修趣意書のみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元の扉のページで、ダイナミックな写真や楽しいイラストを示し、児童の学習への興味・関心を高めたり、これから学ぶことのイメージを広げたりする工夫がある。 学習活動ごとにふりかえりの場として「こんなことは あったかな」が設けられており、児童自身の経験を次の学習につなげられるよう工夫されている。また、「楽しい毎日につなげよう」で学習を家庭や地域で活用するよう促している。 別冊「ひろがるせいかつじてん」では各単元や他教科に共通する汎用的な知識・技能がわかりやすくまとめられており、別冊とすることで直ぐに調べられる工夫がされている。 写真の人物のセリフが詳しく書かれており、児童の伝え方の手がかりとなっているほか、「こんなことあるかもね」では多様な考え方や一人一人が安心して学べるような工夫がある。
<p>分量・装丁・表記等</p>		<ul style="list-style-type: none"> 上巻巻末に「きせつのなかまたち」という別冊のずかんがついており、切り取って野外活動の時に役立てられる。 児童になじみのある絵本作家のイラストを用いることで、いろいろな読み取りや感じ方ができるつくりとなっている。また、二次元コードがキャラクターと一体化しており、児童の目を引くつくりとなっている。
<p>本市の児童の実態や 地域等の特性との関 連</p>		<ul style="list-style-type: none"> 「なつとともだち」では、夏休みにいってみたい場所として、藤沢市江の島の写真が掲載されている。 各見開きページに保護者向けのメッセージがあり、学校と家庭との連携が取りやすい工夫がされている。

発行者の略称	啓林館	
書名	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のはじめには「どんな○○かな。」と問いかける言葉があり、児童が主体的に学ぶための動機づけとなるような工夫がされている。 各単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階に分かれていて、試してみても工夫するといった学びを深める流れになっている。また、児童の気づきの手立てとなるよう「学びのヒント」を示している。 上巻巻頭「すたあとぶっく〜がっこうだいすきいちねんせい〜」では幼児教育からのつながりを、下巻巻末「3年生へのステップブック」では、ふりかえりとともに3年生に向けて自信と意欲をもてるよう設定されている。 これまでの生活上の経験から考えさせる場面が多く、児童が身の回りのことに興味・関心をもちやすい構成になっている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 「びっくりずかんLIVE」では、実物大の写真や見ることの難しい写真が多く取り上げられている。また、巻末に「がくしゅうずかん」があり、生活科の活動に係ることがわかりやすく説明されている。 ページ数は多いが、絵や写真をたくさん使っているので、児童が学習に取り組みやすいようになっている。 	
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 相模の大凧まつりの写真が掲載されている。 「ふゆとなかよし」では、「ゆきがふらないちいきでもやってみよう」が掲載されている。 	

発行者の略称	教 出	教 芸
書 名	音楽のおくりもの	小学校の音楽
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の主要部分では、「学習のめあて」や「まなびナビ」が示され、児童が見通しをもち主体的に学習できるように工夫されている。 ・児童が主体的に活動できるように、各学年の巻末に「音楽のもと」が掲載されている。また、「にっぽんうた」には大きく3ページ分の写真があり、イメージを膨らませ、表現がさらに深められるように工夫されている。 ・「音のスケッチ」では、児童が思いや意図をもってまとまりを意識した音楽づくりができるよう、旋律を用いた学習活動を系統立てて配置している。 ・歌唱や器楽、鑑賞において多くの楽曲が掲載されており、基礎から発展まで様々なジャンルの音楽に触れられるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭の学習マップでは、キャラクターに吹き出しをつけ、めあてとなる内容を示すことで、音楽を形づくっている要素ごとにどんなことをすればよいか分かるようにしている。 ・学習の手順を分かりやすく示し、吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって、児童の思いや意図をどのように生かすのが分かるように工夫されている。 ・「おもいだそう」では、新たな学習に生かせるように、学んだことを復習できる工夫があるほか、リズムから旋律、和音へと発達段階に応じて発展的に音楽づくりができるよう掲載されている。 ・題材名に合わせて、ねらいに即した教材を精選し、歌唱・器楽・鑑賞・創作の学習をそれぞれ関連づけ、学ぶことができるように工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性を意識して、より多くの人に判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字の使用など、細部にわたり配慮されている。 ・1、2年生では鍵盤ハーモニカの写真が実物に近い大きさと掲載され、音を確実に定着させるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援やユニバーサルデザインの視点から無地や単色の部分に歌詞や活動文が配置されている。 ・楽器の写真が大きく、装飾がないので見やすくなっており、楽器の大きさの違いもわかりやすく表記されている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生では、「ソーラン節」からおはやしのリズムの学習まで、児童が地域のお祭りで体験したこととつながる内容が多く取り扱われており、音楽と生活のつながりを感じることのできる内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生「ちいきにつたわるおどりやまの音楽を調べよう」では、神奈川県『相模里神楽』が掲載されている。自分の地域の音楽を学ぶ機会が設定されており、児童にとって自分の地域の音楽から藤沢市の音楽（市歌など）へと知るきっかけの一助となる。

発行者の略称	開隆堂	日 文
書 名	図画工作	図画工作
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育成したい資質・能力を「くふうさん」「ひらめきさん」「こころさん」の3つのキャラクターで示している。特に重要な項目は、赤字で強調されており、児童がめあてや見通しをもって活動しやすくなっている。 ・ 「小さな美術館」では、前ページの表現活動と関連した鑑賞の題材が取り上げられており、表現と鑑賞の活動を互いに関連させて学べる構成になっている。 ・ 「あわせて学ぼう」では他教科や学校生活と関連づける視点が記載されている。二次元コードにはワークシートが用意されており、対話的な学びが実現できるよう工夫されている。 ・ 題材名、学習のめあて、準備する道具を見開き左上にまとめて示すことで、学習の見通しをもたせる構成になっている。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのマークで育成したい資質・能力に合わせた「めあて」を示している。特に大切なめあてのヒントは、ヒントのマークとともに枠で囲んで提示しており、児童が主体的に取り組めるよう工夫がされている。 ・ どの題材にも鑑賞の活動が設定されており、表現のヒント・鑑賞のヒントを参考にし、2つを関連させて学べる構成になっている。 ・ 「アート・カードを楽しもう」では、二次元コードにアプリが用意されていて、活動を通して協働的な学びや対話的な学びが促されるよう工夫されている。 ・ 作品が大きく載せられており、どのような工夫をしたのか考えたいくなる構図になっている。また、学習の見通しがもてるよう巻頭でオリエンテーションを設定している。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙の題字に布や木材、石など様々な材料や表現方法が用いられ、児童の創作意欲が湧くつくりになっている。 ・ 二次元コードを利用して、巻末で道具の使い方を動画で確認できたり、各ページからは作品が鑑賞できたりする工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各題材における題字が活動内容と関連したデザインとなっており、創作意欲が湧くつくりになっている。 ・ 二次元コードを利用して、各題材のページから、道具の使い方が動画で確認できたり、360度回転して作品を鑑賞できたりする工夫がされている。
<p>本市の児童の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年下巻「みんなのギャラリー」では、茅ヶ崎市の砂の造形遊びが取り上げられており、海が身近にある本市の児童に合う活動が紹介されている。 ・ 3年生以上には「つながる造形」で、学校や地域の中にある造形が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年下巻「きょうかしよびじゅつかん」では箱根彫刻の森美術館が取り上げられており、本市の児童にとって身近な場所が紹介されている。 ・ 3年生以上には「広がる図工」で、生活とつながるアート作品が取り上げられている。

発行者の略称	東 書	開隆堂
書 名	新しい家庭5・6	小学校わたしたちの家庭科5・6
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに「いつも確かめよう」というページがあり、作業手順や注意点が記載され、基礎基本を確認しながら学べる工夫がある。 ・「話し合おう」「考えよう」「深めよう」などの項目が設定され、対話的な学びの視点が明記されている。 ・巻頭に2学年を通した学びが示されていることから、見通しをもって学習に取り組めるとともに、巻末にはこれからの生活に目を向けて考えるよう「2年間のまとめ」のページを設けている。 ・「日本の伝統」のコーナーがあり、ものだけではなく、習慣や価値観についても紹介しており、児童の見方・考え方の一助になっている。 ・情報量が豊富で、児童の実態に応じ選び取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の始めに写真やイラストが大きく掲載されており、学習内容が一目でわかり、学習の見通しをもちやすい工夫がある。 ・題材ごとに「生かす・深める」場面が設定されており、学んだことをもとに「対話的な学び」ができる工夫がされている。 ・5年の終わりに学習を振り返り、6年の学習につなげられるよう工夫されているとともに、6年の終わりには中学へのつながりに触れられ、系統立てた学習となっている。 ・日本各地の食文化や季節の料理、伝統的な生活文化を紹介し、日本の伝統や文化に興味をもてる工夫がされている。 ・情報が精選されており、かつ児童にとってわかりやすい言葉で書かれている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の切り方とともに、切る大きさが実物大の写真で示され、児童にとってイメージしやすいつくりになっている。 ・小見出しや目次が題材ごとに番号と色で分けられており、シンプルでわかりやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業手順の写真やイラスト、手元の写真が大きく、視覚的な支援となっている。 ・小見出しや目次が領域ごとに色分けされており、どの内容のものかがわかりやすくなっている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての大題材の導入にステップ1～3の学習の流れが並べて示されていることで、学習の見通しが立てやすいつくりになっている。 ・旬や地産地消、日本の伝統で食育を扱い、「持続可能な社会をつくろう」の中でSDGsを大きく取り上げ、環境教育につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作や調理の例が複数掲載されており、児童の実態に合わせて選択することができる。 ・「できることから始めて、持続可能な生活をつくる」や「家庭や地域の安全・防災」など環境教育や防災教育に関する内容を取り扱っている。

発行者の略称	東 書	大日本
書 名	新しい保健	たのしい保健
<p>編集の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 危険に関連した内容について、統計をもとに対策を考える流れになっている。円グラフや帯グラフを使い、視覚的に分かりやすくしてある。 「運動を楽しく続けよう」や「自分の気持ちや考えを伝えよう」等のインデックスの資料では、家庭や地域での健康保持増進に繋がる取組みが紹介され、体力向上、健やかな体を養う態度が育まれるように工夫されている。 健康な生活・不健康な生活等、比較して提示する資料が複数あり、健康リスクや生活の質の向上に気づきやすいように配慮されている。 各単元ステップ3「深める・伝える」では、これまで学習したことや身近な写真やイラストの資料について、自分の考えをまとめたり、それを他者に伝えたりする活動が設定されている。 「心の健康」では、「実習」の項目で、座ったままできる呼吸法や軽い運動が提示されている。また、できたら○を付ける欄があり、実践を促す工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元に関連ページが示され、学習内容と資料や発展内容を行き来して学べるよう工夫がある。 各学年の終わりに「〇年のまとめ」を設け、日常を振り返り、今後の生活を考えることで、生涯にわたり健康に生活する意識付けができるようにしている。また、夢を叶えた著名人を紹介し、健康の大切さに気付けるようにしている。 各章の最後に「もっと知りたい」という資料があり、保健の見方を広げる一助となっている。 学習内容の導入「つかもう」では、生活や体験に照らして考えられる課題が設定され、その後「調べよう」「話し合おう」等、主体的で対話的な活動がしやすいつくりになっている。 「心の健康」では、単元の導入に、教室でできるストレッチが取り上げられ、運動領域と保健領域が密接に関連していることが理解できるよう工夫されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 記入スペースが豊富にあり、ワークシートを併用せず、教科書1冊で授業を展開することができるよう工夫されている。 イラストに対しての説明が多く、二次元コードでの資料が動画だけでなく、アニメーションや実験動画、さらにワークシートなど様々な資料があり、児童が理解しやすい工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードが小単元名の横にあり、単元の学びをつかみやすいつくりになっている。また、課題に対して選択肢を提示し、文章表現が苦手な児童が、選択肢から選んで取り組める配慮がされている。 児童の生活に関わる場面を幅広くイラストで提示し、自分事として学習課題を見つけたいくなるような工夫がされている。
<p>本市の児童の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を認め合えるよう、多様なキャラクターを使用している。また、津波についての記述や安全マップの作り方等の記載があり、防災意識を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「犯罪被害の防止」では、公園やエレベーター等が取り上げられ、本市の地域性と関連する場面が多々ある。

発行者の略称	大修館	文教社
書名	小学校保健	わたしたちの保健
<p>編集の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 統計データは、目盛を使って読み取るだけでなく、グラフに数字が記載され、読み取りやすい工夫がある。また、イラストや写真、グラフ等がまとまっていて、それに対し発段階に即した学習が設定されている。 児童にとって身近に感じられる資料が多い。また、「もっと学びを広げよう！深めよう！」の頁が随所にあり、学習後も活用でき、生涯にわたっての知識が得られる内容となっている。 「危険ながらスマホ」や「スマホゲーム依存」等、子ども達に身近なことを取り上げ自身の生活を考えていけるよう工夫されている。 各学習の展開部分で「話し合おう」が設定され、友達の考えを聞いて、新たに気づいたことを書く欄があり、対話的な活動を促すつくりになっている。 運動領域との関連を「体育の窓」という形で伝えている。特に、「よりよい成長のために」では、「とんだり、はねたりする運動や遊び」を紹介し、子ども達が実際に取り組みやすい工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「変化していく体とわたし」では、身長、体重ともに男子、女子のデータを比較することで身体変化の違いに気づくことができる工夫がされている。 「わたしのけんこうせん言」や「もう一歩先の自分へ」では、学んだことをこれからの生活に生かすために意識付けができるつくりになっている。 学習した内容をどのように生活に生かすか考えられるよう、単元の終わりに「もっと考えよう課」と発展的な内容が設定されている。 多様な資料とデータの比較から考えを深めていく工夫がされている。単元の最後にこれからの自分の課題を考えるつくりになっている。 「不安やなやみへの対処」では、不安を和らげる方法として、体ほぐしの運動や体操、ストレッチの仕方を写真やイラストとともに紹介し、児童が取り組みやすいよう配慮がされている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 配色に工夫があり、学習の流れが把握しやすくなっている。記述スペースが大きく、小さな文字を書くことが苦手な児童にも取り組みやすいつくりになっている。 著名な人物の写真や児童に寄り添ったイラストの言葉から思考を広げ、他者と対話を進められる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストや写真の資料があり、児童にとって身近な言葉で解説されている。学習のまとめは簡潔な言葉で示されている。 イラストや写真の資料があり、「〇〇を調べよう」の学習課題では、児童にとって身近な課題を設定し、取り組みやすいつくりになっている。
<p>本市の児童の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター内や見通しの悪い駐車場での注意が具体的である。本市ともかかわりのある、津波や河口についての記載があり、防災意識が高められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 着衣泳の行い方や遊泳区域を示す設備などの記載がある。水の事故がたくさん取り上げられ、海に面している本市として、安全意識が高められる。

発行者の略称	光文	学研
書 名	小学保健	新・みんなの保健
<p>編集の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の健康」では、「広げよう深めよう」の発展ページに、相談窓口の資料とともに二次元コードを載せることで、児童の心の変化における悩みに実際的な対応策を示している。 ・「心の発達」では、今までの自分の変化を捉えた後に、未来の自分がどのように発達・成長していくのかを考えられるつくりになっている。 ・各章の最後に「広げよう、深めよう」という身近な生活が健康に大きく関わっていることが分かるような資料があり、保健の見方を広げる工夫がされている。 ・「話し合おう」に記述欄が設けられており、考えをまとめてから他者に伝えることができる。記述欄に補助的な指示が多く、書くことが苦手な児童への配慮がある。 ・「不安やなやみなどへの対処」では、二次元コードを使い、動画で体ほぐしの運動を見られるように工夫されている。緊張を和らげる方法として、2つの深呼吸が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に対する資料やデータを絞り、大きく示すことで焦点化されるつくりになっている。「身のまわりのかんきょう」では、教室の空気の汚れをグラフで表すことで、変化の様子をデータの側面からも理解できるような工夫がされている。 ・「ふりかえる、伝える、つなぐ」では、学習したことを伝えたり、生活に生かしたいことをまとめたりする内容となっている。 ・学校場面等、実生活に即したイラストを精選し、自身の生活と学習内容を結びつけて保健の見方・考え方を働かせる工夫がある。 ・考えたことを表現できるように、えんぴつのマークの横に補助的に記述する内容を指示したり、話し合いのもとになる写真やイラストを提示したりしている。 ・「不安やなやみへの対処」では、体をほぐす体操がイラストで掲載され、体と心がつながっていることが分かるよう工夫されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードが小単元の横にあり、導入や補充として使いやすいつくりになっている。 ・イラストや写真等背景が色分けされ、変化や違いが捉えやすく、様々な視点から児童の考えを引き出せるよう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述スペースがカラーの線で囲われて見やすくなっている。 ・身近なイラストが語りかける形式のため、学習内容について見通しがもちやすく、主体的に学習に取り組めるつくりになっている。
<p>本市の児童の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットのトラブルで被害者や加害者にならないよう注意が記載され、防犯意識を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・津波に着目した記述や地震があった際の避難や海の危険についての記載があり、防災意識を高めている。

調査資料

教科： 外国語

種目： 英語

NO. 1

発行者の略称	東 書	開隆堂
書 名	NEW HORIZON Elementary	Junior Sunshine
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各ユニットを4つのステップで分け、見通しをもった学習活動を促している。 4技能の中でも、「書く活動」が学習活動に十分に組み込まれている。また、聞く学習から最後の言語活動までの流れを授業者が児童の実態に応じて工夫することができる。 社会科で学習した地図記号や歴史との関連が見られたり、自分の街の魅力を紹介したりするなど生活の中での学びをいかせるつくりになっている。 各単元末で「Over the Horizon（世界の文化を知る）」が設けられ、世界に目を向ける学習内容を設定し、グローバルな視点を養う構成になっているとともに、日本と世界のつながりや地球環境を考える場面がある。 デジタル教材に、繰り返しボタンや字幕ボタンが付いているなど操作性が良く、アニメや実写の映像がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の始まりに、ゴールとそこに至るまでのステップが表記され、見通しをもった学習ができるよう工夫されている。また、相手意識をもってコミュニケーションを図ることができ、単元の最後には、個人やペアで内容を整理、吟味してから表現する学習を設けている。 4技能を繰り返すことで、表現の習得を目指している。学習内容を各Unit 8時間ずつ設定し、具体的に活動を指示しているため、授業者が構成に則って進めることができるつくりになっている。 5年の巻頭で、既習のフレーズや感情表現、反応がコンパクトに示されている。また、6年では各レッスンの中でSDGsの視点で書かれたコラムがある。 各単元末のAround the Worldで世界の文化や生活を扱っている。さらに、各単元内には学習内容に沿った世界の紹介動画がある。 デジタル教材では、音声に集中できるよう、シンプルな作りになっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 軽量なつくりで、文字がすっきりと見やすく工夫されている。ほとんどのページに書く部分があり、ワークブック式となっている。 語彙・表現集は別冊で1冊あり5・6年兼用となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読むこと、書くことの活動が十分にある。巻末に「Can Doーチェック」がある。 語彙集は別冊で5・6年各1冊ある。
<p>本市の児童の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5年生「Welcome to Japan!」では日本各地の観光地など、魅力を伝え合う単元があり、本市に近い横浜を例に紹介されており、児童が身近に感じられる教材になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 江の島の写真が掲載されており、児童が興味をもって取り組める教材になっている。
<p>デジタル教科書</p>	<ul style="list-style-type: none"> 該当箇所をタッチすることで、画面が拡大され、文字や文章の記入がしやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンが充実していて、朗読ボタンを押せば、日本語も英語もタッチすることで朗読してくれる。

発行者の略称	三省堂	教出
書名	CROWN Jr.	ONE WORLD Smiles
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・年間3つのユニットに分け、英語で何ができるようになるかを設定し、英語表現の音声練習を繰り返すなどして、基礎的知識の習得を図るよう工夫されている。年3回の言語活動「JUMP」で、コミュニケーションの目的・場面・状況を考えて表現する構成になっている。 ・毎時間繰り返し4技能を扱うことでバランスよく技能を育成できるよう工夫されている。話す活動の設定がシンプルのため、授業者が児童の実態に応じて活動を工夫することができるようになっている。 ・2年国語で学習した「スーホの白い馬」の読み聞かせがあり日本語と英語での表現の違いを体感できる。 ・年に2、3回世界の文化や生活を扱っているほか、日本語でも慣れ親しんでいる世界のお話が、年間3つずつ紹介されている。 ・デジタル教材にあるアニメの会話の様子は、話者の主体が大きくなるなど工夫がされている。また、チャンツとクイズ機能がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が出会うであろう英語を使う場面が設定され、その場面で必要になる表現例などを聞く活動が多く設定されている。また、例に倣って自分の思いを伝えられようとする活動を通して、基礎的知識の習得を図るよう工夫されている。 ・各レッスンで4技能を扱う構成となっており、授業ごとの習得技能が明確に示されている。シンプルな紙面と単元構成で、授業者が児童の実態に合わせて活動を工夫することができるようになっている。 ・外来語や和英辞典、2年生国語で学習した「お手紙」が紹介されていて、日本語訳との違いが体感できる。 ・単元内の聞く活動で、様々な国の話を紹介していたり、世界の子どもの話を聞く活動がある。 ・デジタル教材は他教科ともつながっているほか、全ての単元で必要な所に二次元コードがあり、音声教材を活用しやすいようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にカラーユニバーサルデザインに配慮して編修しており、見開き全体2ページで視覚的な情報を伝えている。 ・語彙・表現集は別冊で1冊あり5・6年兼用となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真などの視覚教材がユニバーサルデザインに配慮されている。 ・語彙は巻末にまとめられており、5・6年で、掲載語彙が異なっている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフセービングに関する教材があり、海水浴場がある本市の児童が興味をもてる内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉大仏、横浜中華街など、神奈川の名所が扱われており、児童が興味・関心をもって取り組める内容となっている。
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・該当箇所をタッチすることで、画面が拡大され、二次元コードのリンクに飛ばなくても、活動ごとに再生することが可能となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語をタッチするとその音声の流れる。画面下に音量・速度の調整ボタンがあり操作しやすいようになっている。

発行者の略称	光村	啓林館
書名	Here We Go	Blue Sky
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の目標を設定し、互いの考えや気持ちを意識した英語学習になるよう工夫されている。場面設定例を具体的に示したり、相手とのやりとりに欠かせない表現を随所に載せたりするなどして、多角的にコミュニケーション能力の育成を図っている。 ・各単元で4技能を繰り返し扱う。「Let's Try」や「Plus One!」で学習した表現を使いながら慣れ親しむ活動など、話す学習が十分にあり、応用・発展編を合わせて示している。 ・「話すとき気をつけよう」や「聞くとき気をつけよう」など、日常生活に生かせる学習態度が記されているほか、災害に関連する学びがある。 ・各単元内に各国の紹介があり、言語活動から世界に興味をもつことができる構成になっている。「世界の友達」(年3回)では同世代の子どもたちを知ることができる。 ・デジタル教材では、字幕の有無を選択できる。会話や音に合わせてアニメの登場人物が動く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各Unitでできるようになることをゴールとして設定し、ゴールに到達するために必要な英語表現の音声練習を多く取り入れるなど、基礎的知識の習得を図ることで、毎授業、扱う表現が1つずつ増えていく構成になっている。 ・聞く活動などのインプット活動を重視したつくりになっており、4技能の中でも「聞く」学習が多く扱われている。授業者は児童の実態に合わせて、表現に慣れ親しむ学習を取り入れるなどの工夫をすることができる。 ・注文の場面では、リスニングで合計金額を考える算数的な要素がある。 ・各単元末の「Did you know」で、世界の文化や生活の紹介がある。各単元内でも世界の子どもの話を聞く活動があり、言語活動を通して世界を身近に感じられる構成となっている。 ・デジタル教材では、場面に応じて、音声と同時に英語字幕が出るので文字を追える。フレーズ集の英文をタッチすると音声流れるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面構成、イラストや文字の大きさ等、児童が見やすいように工夫されている。 ・語彙・表現集は別冊で、教科書に挟み込みが可能。5・6年用それぞれ単元ごとに配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やシンプルなイラストが見やすく配置されている。 ・語彙集は教科書巻末に掲載(4線は無し)。5年Unit8では見開きの世界地図がある。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の観光地や横浜中華街が扱われており、児童が興味・関心をもって取り組むことができる内容である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉大仏、ベイブリッジ、茅ヶ崎出身の野口宇宙飛行士が扱われており、児童が興味・関心を持って取り組むことができる内容である。
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能な音声ボタンを押すと、同じページ上に操作バーが現れ、その場で巻き戻しや速度変更ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ一覧ボタンがあり、視覚的に前後のページを確認しやすく、目的のページを開きやすくなっている。

発行者の略称	東 書	教 出
書 名	新しい道徳	小学 道徳
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科 道徳」 に係る観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「えんじて考えよう」というページが設定され、登場人物になりきって演じたり考えたりしながら、気づいたことを伝え合うことができるつくりになっている。 ・巻頭の「5つのユニットで心の力持ちになろう」では、教材文をカテゴリー化して、学習するテーマを明確にしている。 ・巻末の考えるためのツール〈心のメーター〉を利用することで、はっきりと自覚できない自分の考えをメーターで可視化することにより、友達の考えと比較し、自分の心を見つめることができるよう工夫されている。 ・子どもの課題意識に応じ、「SDGs」や「いじめ防止」など現代の課題について知ることができるよう構成に工夫がみられる。 ・「『じぶん』について考えよう」のユニットでは、個人やグループでの活動を通して、自分のよさや可能性を見つめるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の中に「やってみよう」という項目が設定されており、「動作化」や「役割演技」を通して、学習者が道徳的価値を理解できるよう工夫されている。 ・教科書の巻頭に「道徳ではこんな学び方をするよ」のページが設けられ、学年ごとに1時間の授業をイメージできるような構成となっている。 ・各教材の終わりに自己評価欄が設けられ、授業で感じたことをすぐに記録できるように「◎・○・△」など、発達段階に即して、児童なりの表現で記述できるように配慮されている。 ・「いじめ防止」や「情報モラル」についての項目は、特に大切にすするテーマとしてユニット化し、道徳的効果が高まるように設定されている。 ・教材ごとに、「深めよう」という項目が設定されている。友だちとの話し合い活動を通して、「自分ならどうするか」を考え、まとめることで自己を見つめられるように工夫されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版 ・二次元コードから、教材をプロの声優の音声で聞くことができたり、紙芝居のように場面絵を見たりすることができる。 ・すべての児童の色覚特性に適応するようにデザインされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版 ・二次元コードに参考となる書籍やウェブサイトの紹介がある。 ・色覚の個人差を問わず、多くの人が見やすい、カラーユニバーサルデザインが使用されている。
<p>本市の児童の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生「かむかむメニュー」は、本市の給食にも取り入れられており、自身の健康や安全を意識する食育とも関連している。 ・5年生「一ふみ十年」では、自然環境保護の心がけを伝えており、八ヶ岳野外体験教室の学習と重ねて考えやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生「わたしの町のあんこやさん」では、本市の各地域で続いているお店と関連付けて考えられる。 ・5年生「一木一石運動」では、自然保護活動が扱われている。本市は海岸の清掃や森林の保護する活動があり、児童の身近なことと関連している。

発行者の略称	光 村	日 文
書 名	道徳 きみが いちばん ひかるとき	小学道徳 生きる力 道徳ノート
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科 道徳」に係る観点	<ul style="list-style-type: none"> ・考えるヒントとして、「演じて考えよう」や「道徳で使う言葉」が紹介され、学習内容によって選択できるよう工夫されている。 ・巻頭には「道徳みちあんない」があり、1年間何を学んでいくのかが明記されている。 ・巻末に、「学びの記録」として、各教材で学んだ後の一言感想や振り返り等、自分の考えを記述する欄が設けられ自身の変容が見えるようになっている。また、「考えるヒント」では、図を使って自分の考えを可視化したり広げたりする工夫がある。 ・現代的な課題とされる「いじめ防止」や「情報モラル」などとコラムを組み合わせたユニット構成がある。 ・SDGs との関連をマークで示し、次のページや付録にはそれに関連した記載があるなど、教材から児童の考えが広がっていくような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐっと ふかめる」というページでは、写真やイラストを使い、役割演技などで児童が教材をイメージしやすい工夫がされている。 ・各学年の巻頭に「道徳の学び方」のページがあり、児童が学習の見通しをもちやすい構成になっている。 ・各学年別冊の道徳ノートがついており、一年間の記録が残せるため、自分の考えの振り返りがしやすい構成になっている。また、他教科とのつながりを持った活動ができるよう「心のベンチ」というページが設けられている。 ・現代的な課題である「いじめ防止」に繋がる「人との関わり」を意識した教材を組み合わせたユニットが、毎学期設定されている。 ・二次元コードには、「シンキングツール」や「しんじょうメーター」などがあり、多面的・多角的に考える工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・B5版 ・ユニバーサルデザインに配慮したオリジナルの教科書体活字を使用している。 ・当該学年の配当漢字には、全て振り仮名が付けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版 ・挿絵や写真が随所であり、具体的にイメージしやすい。 ・全ての教材が右側のページから始まっている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生「いのちをつなぐ岬」では海や水族館がある本市の児童が、身近なこととして考えやすい構成となっている。 ・6年生「クジラとプラスチック」では海洋汚染について書かれている。本市でもビーチクリーンやマイクロプラスチックを回収する装置を設置するなど環境保全に力を入れているため、身近な課題として考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生「水族館ではたらく」では、神奈川県八景島シーパラダイスで働く飼育員が題材となっている。本市の新江ノ島水族館とつなげて、身近なこととして考えられる題材となっている。 ・5年生「ひとふみ十年」の「ぐっと深める」では、由比ヶ浜や逗子海岸が掲載されており、教材と関連させて身近なこととして考えられる題材となっている。

発行者の略称	光 文	学研
書 名	小学 道徳 ゆたかな心	新版 みんなの道徳
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科 道徳」に係る観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでやってみよう！」という実際の問題場面を想定した体験的な活動ができるコラムが設けられていたり、巻頭では、言葉のカードを使った交流が紹介されていたりするなど、対話から学びが深まるよう工夫されている。 ・巻頭に1時間の授業の流れや学び方を明示し、見通しをもった学習ができるよう構成されている。また、思考ツールが紹介され、自分の考えをまとめる一助となっている。 ・巻末に自己評価シート「学びの足あと」が用意されており、児童が自身で学習後の振り返りができるよう工夫されている。 ・特に重要なテーマとして、「生命・自然」「いじめ・情報モラル」「人権・共生」「安全・健康」「レジリエンス」の5つを掲載し、現代的な課題に対応している。 ・単元の最後に「かんがえよう」が設けられ、視点の異なる発問が掲載され、多面的・多角的な考えを促すような構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「心のパスポート」というページでは、関連資料を紹介し、自分事として課題を捉えたり話題を広げたりし、多面的・多角的に考える工夫がされている。 ・現代的な課題として11のテーマが設定されており、児童が自分自身や自身を取り巻く人や社会、環境とつながっていることに気づくことができるよう構成されている。 ・巻末に「つなげよう ひろげよう」として、1年間の道徳の学習の振り返りのページを設け、自己を見つめる工夫がされている。 ・「いのちの教育」を最重点テーマとして、内容項目「生命の尊さ」を土台に、多様性に関連する教材といじめ防止に関連する教材が取り上げられている。 ・各学年「いのち・多様性・キャリア」の3つのテーマでそれぞれ2つの教材（視点）からなるユニット教材が設定され、6年間系統立てた学習ができるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版 ・読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・第3学年まではすべての漢字にふり仮名がつけられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版 ・大きめの文字で表記されている。ユニバーサルデザインフォントの文字が使用されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。
本市の児童の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生「海を耕す人たち」では、片瀬漁港がある本市の児童にとって、身近なこととして考えられる構成となっている。 ・6年生「地球があぶない」では、海洋汚染やメダカの絶滅の危機について話題にされている。本市は海に面していたり、地域固有の「藤沢メダカ」が生息していることから、児童が身近なこととして学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生「ウミガメの命」「へらぶなつり」では、川や海のある本市の児童にとって身近なこととして考えることができる。 ・6年生「カラフルな工夫」では、本市の学校でも取り扱っているチョークの製造会社を取り上げられているため、学習と関連させて児童が身近に感じながら学習できる。

令和6年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会調査員一覧

教科	種目	氏名	所属校	氏名	所属校	人数
国語	国語	石橋 隼人	村岡小	石渡 真理子	羽鳥小	5
		川添 俊雄	六会小	鴨野 愛美	高谷小	
		阿部川 友洋	辻堂小			
	書写	上坂 康信	鵜南小	岸 香代子	滝の沢小	3
		福井 康子	大庭小			
社会	社会	江原 竜平	鵜洋小	西田 将之	新林小	5
		丸山 大輝	片瀬小	本間 幸代	石川小	
		佐藤 遼	善行小			
	地図	阪本 孝太	大道小	川野 真一郎	小糸小	3
		半澤 翔	長後小			
算数	算数	倉持 智敏	辻堂小	三木 卓也	俣野小	6
		上村 光	秋葉台小	芦澤 愛	滝の沢小	
		平野 貴子	八松小	工藤 琢人	天神小	
理科	理科	竹尾 竜昇	明治小	酒井 亮子	大鋸小	5
		高橋 道陽	鵜洋小	佐野 里枝	大清水小	
		藤原 暢之	富士見台小			
生活	生活	今村 文	鵜沼小	三木 匡仁	大越小	5
		尾形 美沙子	六会小	荒川 さくら	中里小	
		寺元 はるか	鵜洋小			
音楽	音楽	押味 智美	辻堂小	小林 誠	中里小	4
		石黒 丈也	御所見小	小谷 尚子	天神小	
図工	図画工作	井上 寛子	御所見小	綱本 秀行	新林小	4
		村上 知世	羽鳥小	野々垣 千明	大清水小	
家庭	家庭	東 広志	秋葉台小	磯貝 美和	亀井野小	3
		山本 奈央	長後小			
体育	保健	原田 大	藤沢小	泉 翔太	八松小	4
		須山 達也	六会小	村上 裕	富士見台小	
外国語	英語	中田 智規	藤沢小	倉方 祐子	湘南台小	5
		河野 里沙	本町小	西塔 慶子	小糸小	
		八森 祐樹	高砂小			
道徳	道徳	黒羽 玄記	明治小	平川 里美	浜見小	5
		河原崎 啓太	大道小	川原 心	駒寄小	
		下山 恵美	鵜南小			